MITSUBISHI

0609874HC9101

保証書付

三菱床暖房システム部材

形名

VPZ-8SRC2
VPZ-8SER2

取扱説明書

この取扱説明書は下記の2機種を併記しています。使用する機種をご確認ください。
(3ページ「もくじ」も、ご活用ください。)

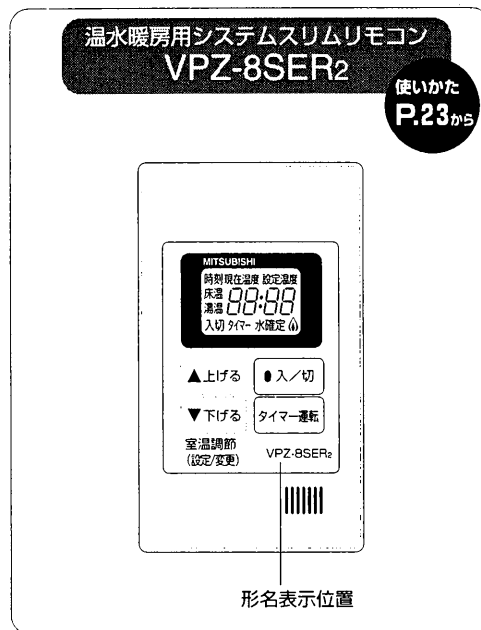
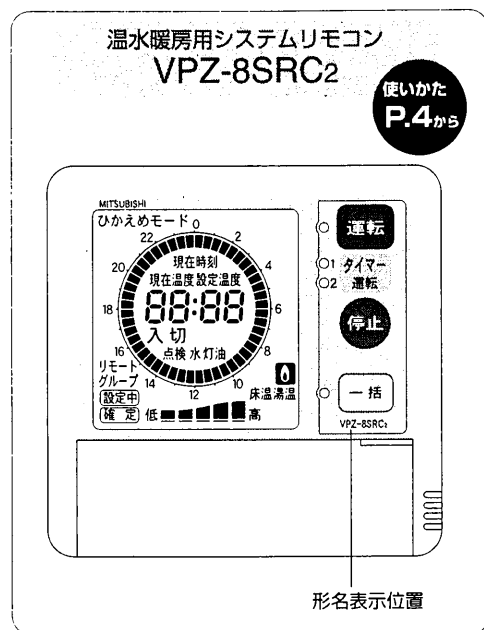
温水暖房用システムリモコン VPZ-8SRC2

使いかた P.4から

形名表示位置

温水暖房用システムスリムリモコン VPZ-8SER2

使いかた P.23から

形名表示位置

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりです。

禁止				

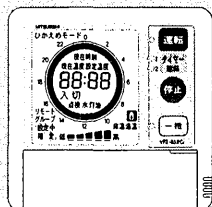
⚠警告

水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の恐れがあります。
分解禁止	●分解・修理はしない 火災・感電・けがの原因になります。 分解修理は修理技術者のいる販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。
指示に従う	●リモコンを接続するコントロールボックス(VPZ-8SPW2)の電源は交流 100V を使用する 火災・感電・けがの原因になります。 分解修理は修理技術者のいる販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。

⚠注意

禁止	●台所など直接炎があたる恐れのある場所では使用しない 火災の原因になります。
水場使用禁止	●風呂、シャワー室では使用しない 火災や感電の原因になります。
指示に従う	●床温設定を正しく行う 床材が薄い場合、高温に設定すると低温やけどの恐れがあります。

お願い

- リモコンコードが高温部分に触れないようにしてください
- リモコンコードが鋭い角部に触れないようにしてください

■もくじ

VPZ-8SRC2

ご使用の前に

使いかた

システムリモコン

VPZ-8SER2

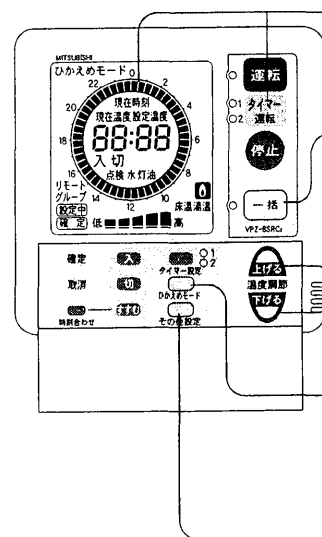
システムスリムリモコン

ご使用の前に

使いかた

VPZ-8SRC2の特長

●他の部屋のリモコンを制御する機能があります（一括運転・リモート運転）。

主な機能

マルチゾーンの強力プログラムタイマー P.10

毎日くりかえす運転パターンを、30分単位できめこまかく設定することができます。
2つの運転パターンを記憶させることができます。

一括運転 P.15

一括運転とは、ひとつのリモコンから、他の全てのリモコン（注1）を「運転」/「タイマー運転」/「停止」させる機能のことです。

室温調節 P.9

お部屋の温度を設定すると、設定された温度にあわせて運転します。

ひかえめモード P.16

室温を設定温度より5℃低い温度で運転します。

その他設定

- **リモート運転** あるリモコンから別のリモコンを「運転」/「停止」させる機能のことです。P.20
- **グループ設定** 「一括運転」をするために、リモコンを「グループ」に登録します。登録の解除もできます。あるリモコンから自分および他のリモコンに関してグループ登録／解除の設定ができます。P.19
- **湯温レベル設定** ボイラからの出湯温度を5段階で調節できます。P.17
- **床温レベル設定** 床材の厚みにあわせて運転を調整することができます。P.18

リモコン番号の確認

リモコンを特定する「リモコン番号」を確認することができます。P.21

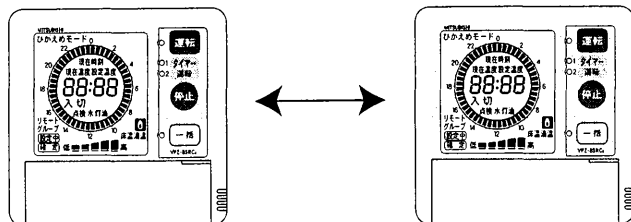
注1）

- 一括運転は「グループ設定」されているリモコンどうしで操作できます。通常はグループ設定されています。
- 一括停止は「グループ設定」とは関係なく全てのリモコンが停止します。P.15

リモコンどうしの関係

システム内（家の中）にはVPZ-8SRC2やVPZ-8SER2が複数（部屋ごとに）設置される場合があります。そのときのリモコンどうしの関係を整理すると次のようになります。

VPZ-8SRC2どうしの関係

「一括運転」「リモート運転」「グループ設定（設定／解除）」はどのVPZ-8SRC2からでもできます（送受信）。あとから操作したリモコンの設定が優先されます。

一括運転での「タイマー運転」の動き

VPZ-8SRC2から一括タイマー運転を指示すると、指示された各リモコンは、自分自身にプログラムされているタイマー運転を開始します。（各リモコンは「タイマー１運転」を開始します）

命令を受けたリモコンが連続運転中のときは受けつけません。また、タイマー運転中のリモコンに一括運転の命令をしてもタイマー運転のままです。

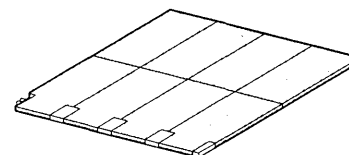
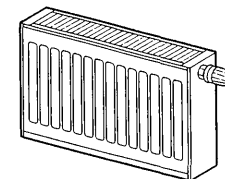
複数のリモコンと、ボイラの動き方の関係

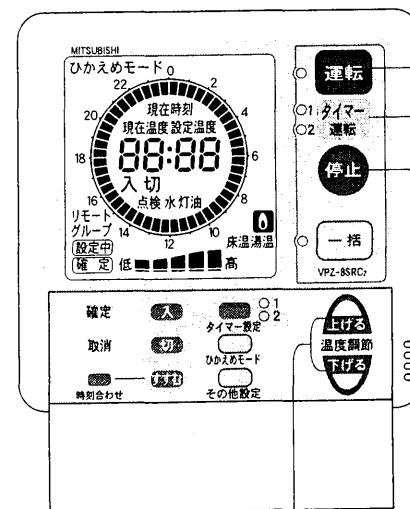
VPZ-8SRC2で運転を停止しても、他のリモコンで運転中ならば、ボイラは運転します。ボイラ運転中はボイラが燃焼したり燃焼を停止したりしますが、ボイラが燃焼中は、全てのリモコンにボイラ燃焼表示が表示されます（運転中でも燃焼停止中はボイラ燃焼表示は表示されません）。

※ボイラ運転中、燃焼と停止をくり返します。
燃焼しているときは「🔥」がすべてのリモコンに表示されます。

放熱器の種類

このリモコンは床暖房、パネルヒーターなどの放熱器により暖房するために使用します。

床暖房

パネルヒーター

ふだんの使いかた

このリモコンでボイラの運転・停止および室温を調節します。

「運転」スイッチを押す（ボイラが運転する） P.9・15

● ピッと音がしてランプが点灯し、運転を開始します。

「タイマー運転」スイッチを押す P.10〜15

● ピッと音がしてタイマー運転が開始します。
● 液晶表示にタイマー設定した時間がリング状に表示されます。
● タイマー運転は2通り（タイマー1、タイマー2）設定できます。
「タイマー運転」スイッチは押すたびに「1」と「2」が交互に切替わります。
※タイマー運転は「時刻合わせ」がされていないと運転できません。
⇒時刻合わせのしかたは P.8

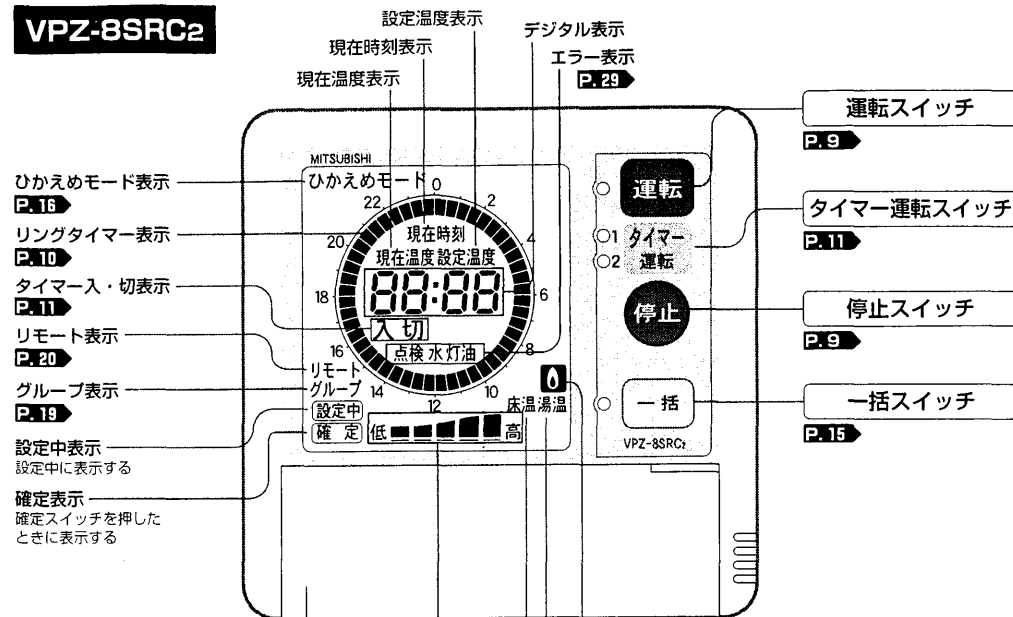
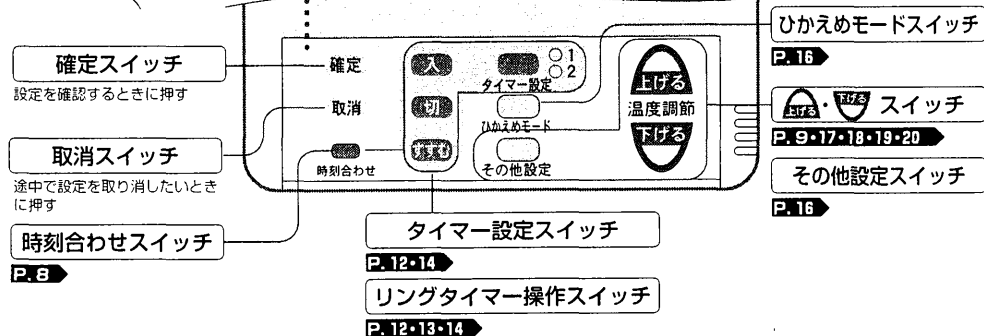
「停止スイッチ」を押す（ボイラが停止する） P.9・11・15・21

ピッと音がしてランプが消灯し、運転を停止します。

室温等を調整する P.9・17・18

リモコン下部のカバーをあけて「温度調節」スイッチを押して室温等を設定します。

各部のなまえ

VPZ-8SRC2

設定温度表示
現在時刻表示
現在温度表示
デジタル表示
エラー表示 P.29

運転スイッチ P.9
タイマー運転スイッチ P.11
停止スイッチ P.9
一括スイッチ P.15

ひかえめモード表示 P.16
リングタイマー表示 P.10
タイマー入・切表示 P.11
リモート表示 P.20
グループ表示 P.19
設定中表示
設定中に表示する
確定表示
確定スイッチを押したときに表示する

MITSUBISHI
ひかえめモード
現在時刻
現在温度 設定温度
88:88
入 切
点検 水 灯油
リモート
グループ
設定中
確 定
低 高
床温 湯温
運転
タイマー 運転
停止
一 括
VPZ-8SRC2

カバー
湯温表示 P.17
床温表示 P.18
ボイラ燃焼表示 P.9
湯温表示 P.17

■カバーの中

カバーを手前に開ける

確定スイッチ
設定を確認するときに押す

取消スイッチ
途中で設定を取り消したいときに押す

時刻合わせスイッチ P.8

確定
取消
時刻合わせ
入
切
すすむ
タイマー設定
ひかえめモード
その他設定
上げる
温度調節
下げる

ひかえめモードスイッチ P.16
上げる・下げる スイッチ P.9・17・18・19・20
その他設定スイッチ P.16
タイマー設定スイッチ P.12・14
リングタイマー操作スイッチ P.12・13・14

現在温度の表示について

床暖房用リモコンとして使用する場合は、現在温度は室温と戻り湯温から演算した体感温度を表示しますので、お部屋の温度と表示値が一致しません。

- 室温より床温が高温時には、現在温度は室温より高い値を表示し、室温より床温が低い場合には、現在温度は室温より低い値を表示します。

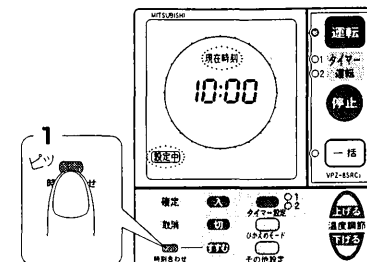
※床温：戻り湯温と床温レベルと室温から推定します。

時刻合わせのしかた

例 14時30分に合わせる場合

1 リモコンのカバーを開けて
時刻合わせ スイッチを押すと、
設定中 が点滅する

10：00が点灯表示されます。

メモ
- 初期設定では［--:--］になります。
- 電源投入時はしばらくの間「CC:CC」が表示され、スイッチ操作ができません。
- 工場出荷時は10：00に設定してあります。

2 <時の設定>を行う
すすむ スイッチを長く押す

- 分の単位が連続して進み、終わると続けて時の単位が11→12→13→14と変わります。

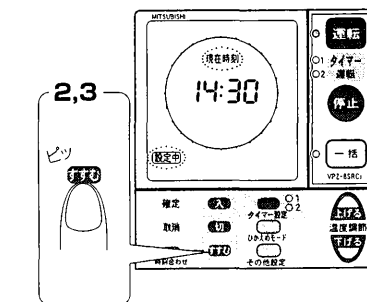
14を確認して指をはなす。

メモ
- すすむ スイッチは押し続けると連続して変わります。
（最初は分単位、次に時間単位で変わります）

3 <分の設定>を行う
①分の単位が30になるまで
すすむ スイッチを押す

② 確定 スイッチを押して確定します

設定中 表示が 確 定 表示に変わります。
その後現在時刻表示に戻ります。

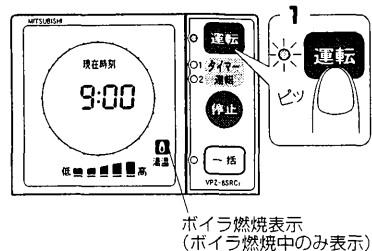
メモ
- 10秒間スイッチ操作しないと自動的に確定します。
- 停電があった場合、時刻が点滅表示します。再度時刻合わせを行ってください。
（ただし30分以内の停電であれば時刻が自動的に復帰します）
- ボイラ燃焼表示（ 🔥 ）が消えないことがあります。これは他のリモコン操作でボイラが燃焼中であることを表しています。

運転開始と停止

暖房運転開始

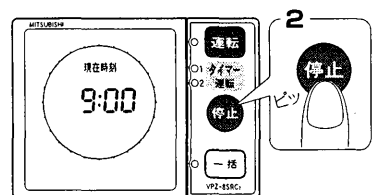
1 運転スイッチを押す

運転ランプが点灯し、湯温表示・運転表示が表示されます。
ボイラが運転し、燃焼を開始します。

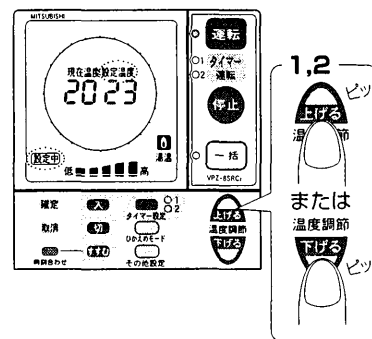
点滅：予熱中
点灯：燃焼中

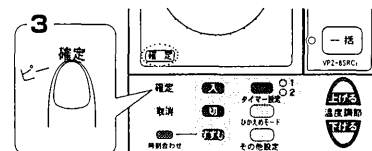
ボイラ燃焼表示
（ボイラ燃焼中のみ表示）

暖房運転停止

2 停止スイッチを押す

運転ランプ、湯温表示、運転表示が消灯します。
ボイラが運転停止し、放熱機への温水供給が停止します。

室温調節のしかた

1 リモコンのカバーを開けて 上げる（または 下げる）スイッチを 1回押す

設定温度と 設定中 が点滅します。

2 上げる 下げる スイッチでお好みの室温に設定する

押すたびに設定温度が１℃ずつ変わります。

3 確定 スイッチを押して確定する

設定中 表示が 確 定 表示に変わります。
その後現在時刻表示に戻ります。

メモ

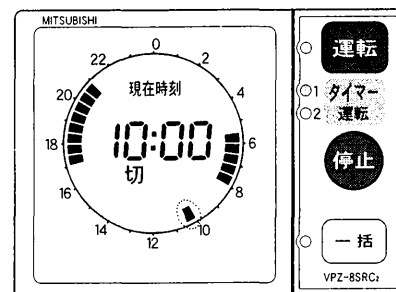
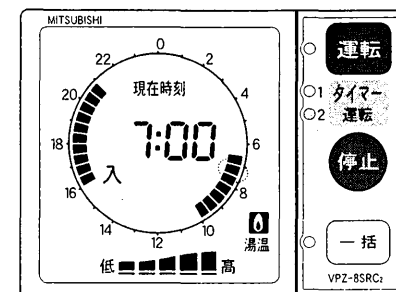
- 設定温度は工場出荷時22℃です。
- 10秒間スイッチ操作しないと自動的に確定します。
- 調節範囲は8℃～30℃ですが、暖房負荷により設定温度に達しない場合があります。
- 途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。

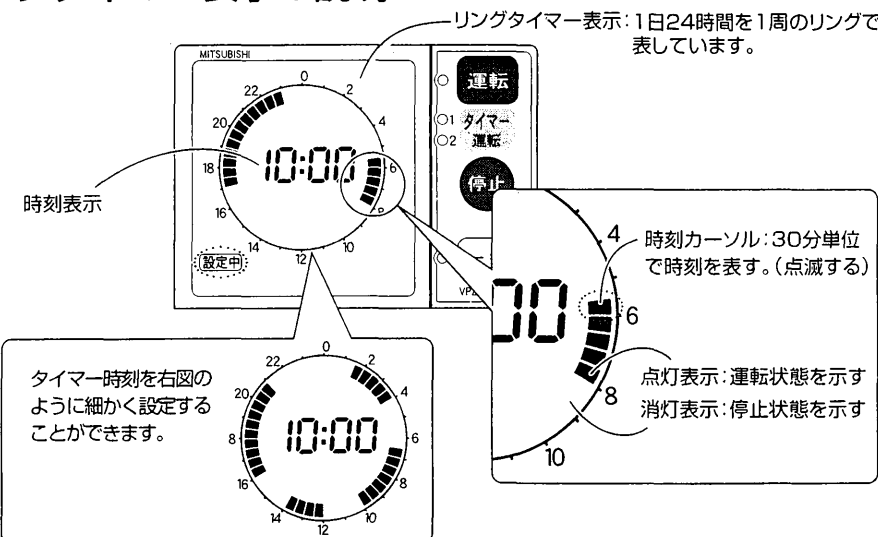
プログラムタイマー運転のしかた

タイマー運転は上手に使いこなすと、生活のリズムに合った運転ができ、より快適な暖房をすることができます。

プログラムタイマーとは

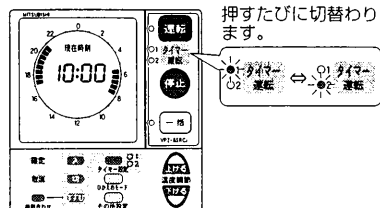
24時間中で、暖房開始と停止を30分単位できめ細かく設定することができるタイマーです。
プログラムタイマーは、一度設定すると毎日操作しなくても決まった時間に暖房します。また、プログラムタイマーは２パターンまで設定することができます。例えばタイマー運転１、タイマー運転２に平日と休日の運転時間を変えて設定しておくと便利です。

タイマー運転１（平日用）
運転時間例：5：30～8：00
17：00～21：00

タイマー運転２（休日用）
運転時間例：6：30～10：00
16：00～21：00

リングタイマー表示の説明

プログラムタイマー運転のしかた つづき

■プログラムタイマー運転のしかた

1 タイマー運転 スイッチを押す

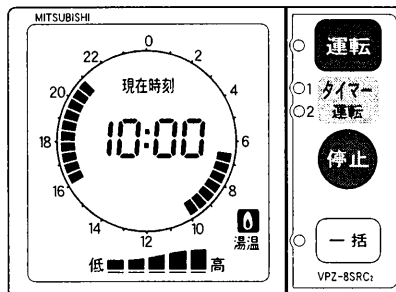
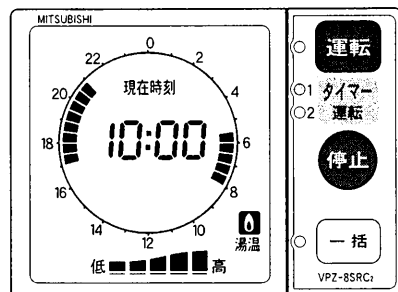
タイマー運転ランプが点灯します。タイマー運転スイッチを押すたびに 1 ⇔ 2 のランプが切替わります。

メモ
●途中で停止したい場合は 停止 スイッチを押します。

2 (タイマー設定を変更しない場合)
タイマー運転 スイッチを押すことで次のようなプログラムタイマー運転が可能です

タイマー運転1の場合

タイマー運転1(平日用)
運転時間:5:30〜8:00
17:00〜21:00

タイマー運転2の場合

タイマー運転2(休日用)
運転時間:6:30〜10:00
16:00〜21:00

このリモコンは、工場出荷時にご使用の運転時間(平日用、休日用)を想定してプログラムタイマーを設定してあります。 タイマー運転 スイッチを押すだけでタイマー運転がご使用になれます。(タイマー設定を変更した場合でも同じ操作でタイマー運転がご使用になれます。)

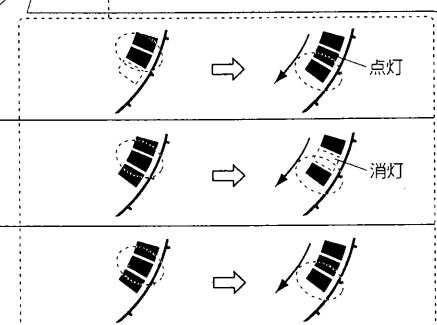
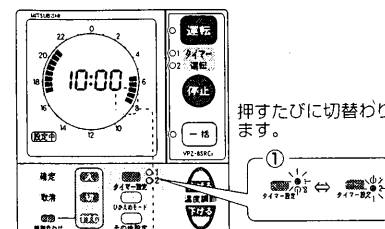
■プログラムタイマー運転中の表示

■プログラムタイマー設定のしかた

プログラムタイマー設定には次のスイッチを使用します。

① タイマー設定 スイッチ
タイマー1、タイマー2を選択します。
(タイマー1、2のランプが点灯します)

② 入、切、すすむ スイッチ

入 スイッチは時刻カーソルを点灯させ1つ進める。(□が■になります)	点灯
切 スイッチは時刻カーソルを消灯させ1つ進める。(■が□になります)	消灯
すすむ スイッチは時刻カーソルを時計方向に進める。(表示は変えません:■は■、□は□のままです)	

■ 確定 スイッチ

タイマー設定を確定して、設定状態から元の状態にもどります。
設定の完了時に押してください。

■ 取消 スイッチ

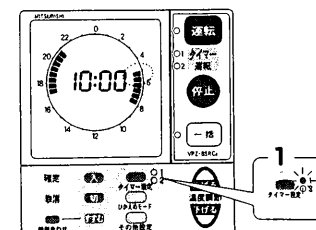
タイマー設定を中止したいときに使用します。
「取消」スイッチを押すと設定を中止して元の状態にもどります。
(タイマー予約の内容は操作前の状態が保持されます。)

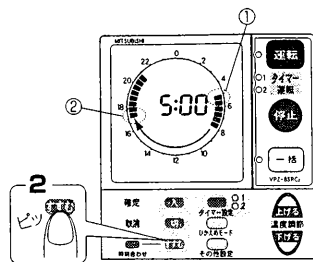
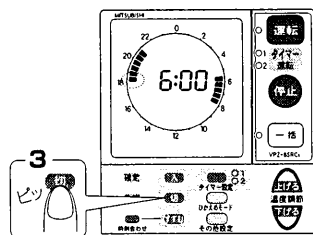
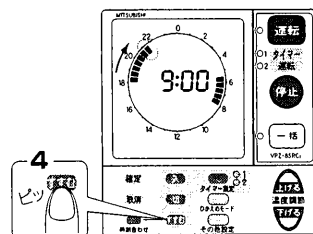
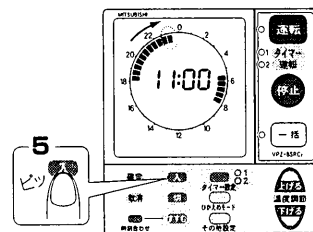
メモ
設定をすべて消去して設定する方法には次の2つの方法があります。
●タイマー設定中に「切」スイッチを押して24時間分を停止状態とする。
●タイマー設定中に「すすむ」スイッチと「時刻合わせ」スイッチを同時に押して、一斉に24時間分を停止状態にする。

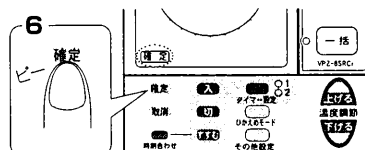
■タイマー設定を少し変更するとき

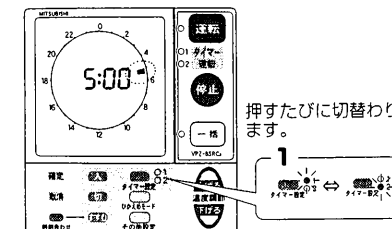
タイマーにあらかじめ設定されている17:00〜21:00(タイマー運転1)の運転を18:00〜23:00に変更する場合

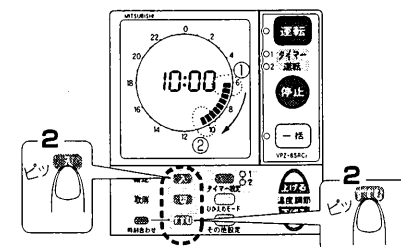
1 タイマー設定 スイッチを押す

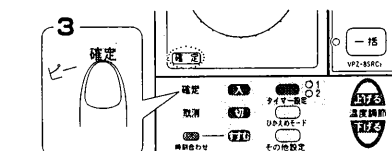
タイマー1を選ぶ。(タイマーランプが点灯)

2 ①5：00のところで時刻カーソルが点滅する
②すすむスイッチを押して17：00のところまで時刻カーソルを進める

メモ ▶ ●電源投入後、最初のタイマー設定変更時は、5：00のところで時刻カーソルが点滅します。2回目以降最後に変更した時刻カーソルが点滅します。

3 切スイッチを18：00のところまで進める

4 すすむスイッチを押して21：00のところまで時刻カーソルを進める

5 入スイッチを押して23：00のところまで進める

6 確定スイッチを押して確定する
●確定表示が点灯後、現在時刻に変わります。

メモ ▶ ●途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。

■タイマー設定を大幅に変更するとき

1 ①タイマー設定スイッチを押す
●押す度にタイマー1⇔タイマー2のランプが切替わります。
②タイマー1、タイマー2を選ぶ
③タイマー設定中にすすむスイッチと時刻合わせスイッチを同時に押して設定を全て取り消します
5：00のところでリングタイマーのカーソルが点滅します。

2 設定する

例 ▶ 6：00〜10：00の運転の場合
①すすむスイッチを押し、6：00のところまで時刻カーソルを動かす。
●時刻表示も同時に変わります。
②入スイッチをくり返し押し10：00まで黒表示に変える。

3 確定スイッチを押して確定する
●確定表示が点灯後、現在時刻に変わります。

メモ ▶ ●途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。

4 タイマー運転スイッチを押す
●タイマー運転を開始します。

一括運転のしかた

◆一括運転とは

運転の停止、およびグループ設定したリモコンの運転・タイマー運転を１つのリモコンから一括して行うことです。（P.5 リモコンどうしの関係を参照）

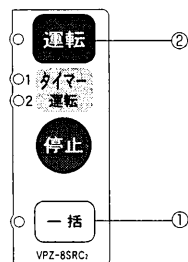
- ●ただし、ある部屋でタイマー運転しているところに一括制御操作がされて連続の指示が来ても、その部屋のタイマー運転を優先して連続運転にはなりません。
- ●工場出荷時には，全てのリモコンがグループとして設定してあります。グループ設定を変更する場合は20ページをご覧ください。

命令を受けたリモコンの運転状態が次のように変わります。

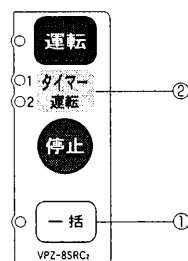
命令を受ける前のリモコンの状態	連続運転の命令を受けたとき	一括タイマー運転の命令を受けたとき	一括停止の命令を受けたとき
停止	連続運転	タイマー運転	停止
連続運転	連続運転	連続運転	停止
タイマー運転	タイマー運転	タイマー運転	停止

一括運転のしかた

① 一括 スイッチを押す（ランプ点灯）
② 運転 スイッチを押す（ランプ点灯）

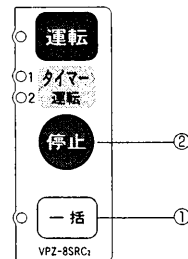
- ●「グループ設定」されているリモコンが運転を開始します。

一括タイマー運転のしかた

① 一括 スイッチを押す（ランプ点灯）
② タイマー運転 スイッチを押す（ランプ点灯）

- ●各リモコンのタイマー設定でタイマー運転を開始します。
- ●連続運転中のリモコンは、連続運転のままです。

一括停止のしかた

① 一括 スイッチを押す（ランプ点灯）
② 停止 スイッチを押す（ランプ消灯）

- ●全てのリモコンが運転状態に関係なく停止します。

メモ ▸ ●個々の部屋の運転を優先した一括制御のしかたになっております。全て同一運転状態にするときは一旦一括運転停止を行い、一括運転または一括タイマー運転を行ってください。

ひかえめモードについて

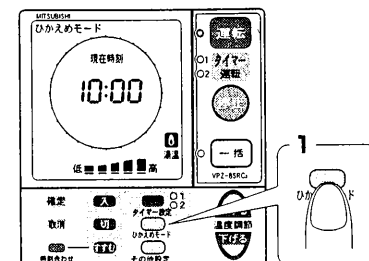
◆ひかえめモードとは

就寝時等にお部屋をある程度温めておきたい場合、簡単スイッチ操作で室温を保温できます。

1 リモコンのカバーを開けて
ひかえめモード スイッチを押す

室温を設定温度より5℃低い温度で運転します。

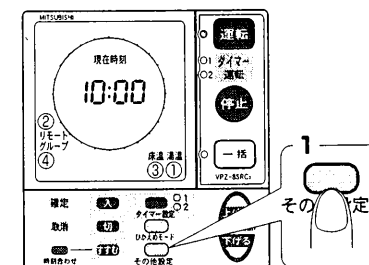
- ● ひかえめモード スイッチを再度押すと通常運転に戻ります。

メモ ▸
- ● 上げる 下げる スイッチ操作はできません。
- ●ひかえめモード時では室温が8℃～25℃のあいだで運転します。

その他設定モードについて

その他設定モードの使いかた

①リモコンのカバーを開けて
その他設定 スイッチを押す

②押すごとに表示が次のように変わります

①湯温 → ②リモート → ③床温 → ④グループ

湯温レベル設定 P.17
リモート運転 P.20
床温レベル設定 P.18
グループ設定 P.19

メモ ▸ ●設定を途中で中止するときは 取消 スイッチを押します。（元の状態にもどります）

湯温レベル設定のしかた

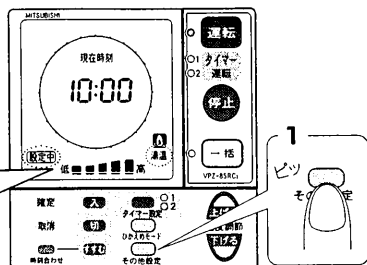
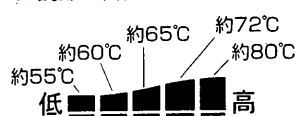
ボイラの温水温度を設定します
三菱暖房用ボイラ（KXシリーズ）に接続した場合のみ湯温レベル設定ができます。

1

リモコンのカバーを開けて その他設定 スイッチを押し、「湯温」を表示する
設定中 が点滅する

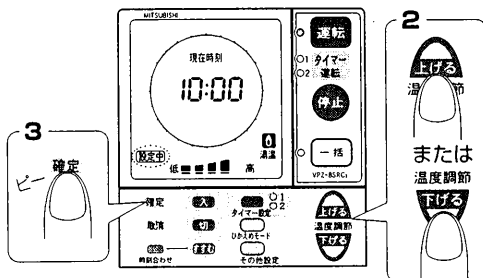
湯温レベル調節の目安

低 約55℃ 約60℃ 約65℃ 約72℃ 約80℃ 高

2

上げる 下げる スイッチでお好みの湯温レベルを表示する

上げる スイッチ…湯温レベルを上げる。
下げる スイッチ…湯温レベルを下げる。

メモ

- 工場出荷時の設定は、最大レベル（5段目）です。

2
上げる
または
温度調節
下げる

3
ピー
確定

3

確定 スイッチを押す

- 設定中 表示が 確 定 表示に変わります。
  その後現在時刻の表示に戻ります。

メモ

- 途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。

床温レベル設定のしかた

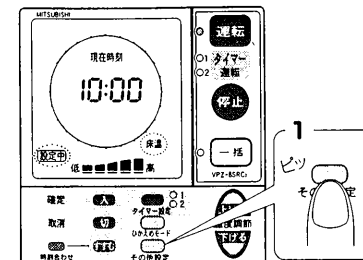
床材の厚みに応じて床温を設定し、低温やけどなどを防止する機能（ハイカット機能）があります。
正しく設定されていないと「床温が高すぎたり」「暖まらない」など正しい室温調節ができません。

1

リモコンのカバーを開けて その他設定 スイッチを押し、「床温」を表示する
設定中 が点滅する

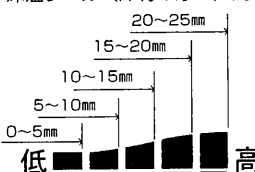
メモ

- 工場出荷時の設定は 10～15㎜（3段目）です。

2

上げる 下げる スイッチを押し、床温レベルを設定する（床温レベル調節目安を参考にする）

上げる スイッチ…床温レベルを上げる。
下げる スイッチ…床温レベルを下げる。

メモ

- 床温レベル（床材の厚み）調節の目安

- 設定が正しい場合床温は約30℃になります。

※設定温度を上げても床の温度がなかなか上がらない場合（床温度表示が点滅している状態）は、床温レベル設定を高目に設定してください。

- 木製床材の場合は温度を上げすぎると「そり」「狂い」の原因になります。低目の設定温度をおすすめします。

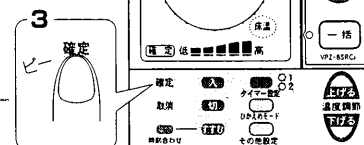
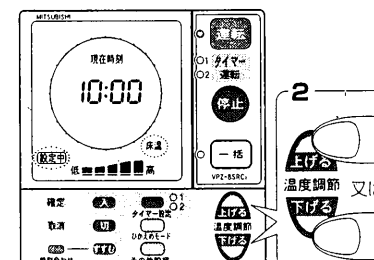
確定 スイッチを押す

3
ピー
確定

3

確定 スイッチを押す

- 設定中 表示が 確 定 表示に変わります。
  その後現在時刻の表示に戻ります。

メモ

- 途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。

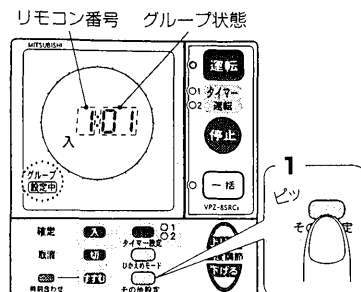
グループ設定のしかた

「グループ設定」:「一括運転」と「一括タイマー運転」「一括停止」をするために、リモコンを「グループ」に登録します。登録の解除もできます。あるリモコンから自分および他のリモコンに関してグループ登録／解除の設定ができます。(通常は全てのリモコンがグループ設定されています。 P.5 リモコンどうしの関係を参照)

リモコン番号2をグループからはずす場合

1 リモコンのカバーを開けて その他設定スイッチを押し、「グループ」を表示する

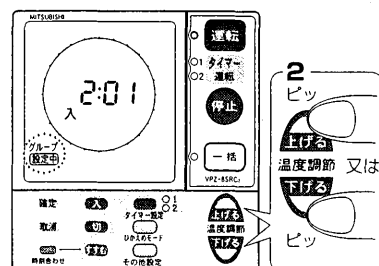
設定中 が点滅する

リモコン番号(左側)とグループ状態(右側)を表示します。

2 上げる 下げる スイッチを押し、グループからはずすリモコン番号を表示する

上げる スイッチ…リモコン番号をすすめる。

下げる スイッチ…リモコン番号を戻す。

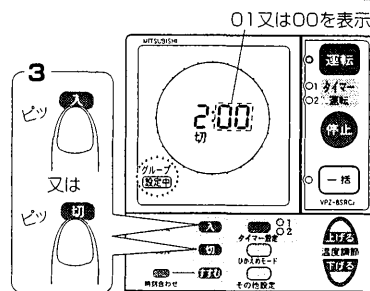
メモ

- リモコン番号が分からない場合は、21ページをご覧ください。

3 入 または 切 スイッチを押す

右側が次のようになります。

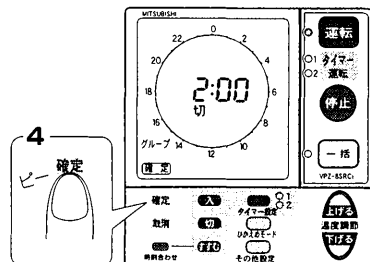
入 スイッチを押す:「01」と「入」を表示
(グループに登録したリモコンの意味)

切 スイッチを押す:「00」と「切」を表示
(グループからはずしたリモコンの意味)

4 確定 スイッチを押す

- 設定中 表示が 確 定 表示に変わります。
  その後現在時刻の表示に戻ります。

図は2番のリモコンがグループからはずされた状態を意味します。

メモ

- 途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。

リモート運転のしかた

リモート運転とは、あるリモコンから別のリモコンを「運転」/「停止」させる機能のことです。

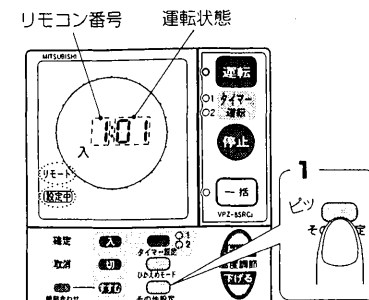
リモコン番号2を停止させる場合

1 リモコンのカバーを開けて その他設定スイッチを押し、「リモート」を表示する

設定中 が点滅する

リモコン番号と運転状態を表示します。

「01」:「運転中」を意味します。

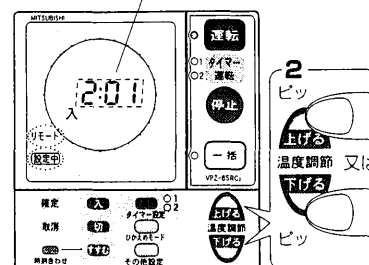
「00」:「停止中」を意味します。

2 上げる 下げる スイッチを押し、運転停止させたい部屋のリモコン番号を表示する

上げる スイッチ…すすめる。

下げる スイッチ…戻す。

メモ

- リモコン番号が分からない場合は、21ページをご覧ください。

「リモコン番号2のリモコンが運転中」を示します。

3 入 または 切 スイッチを押す

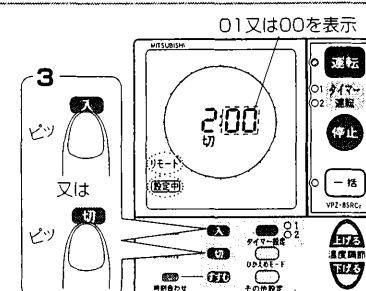
右側が次のように変わります。

入 スイッチを押す:「01」と「入」を表示

切 スイッチを押す:「00」と「切」を表示

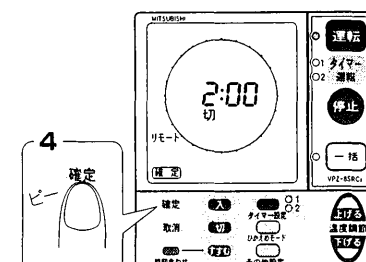
メモ

- 1回の操作で複数のリモコンを操作することはできません。複数のリモコンを操作する場合は、手順1～4を繰り返し行ってください。

4 確定 スイッチを押す

- 設定中 表示が 確 定 表示に変わります。
  その後現在時刻の表示に戻ります。

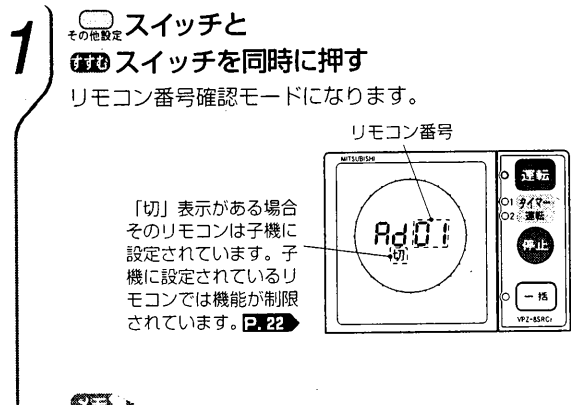
リモコン番号2の運転が停止します。

メモ

- 途中で中止したい時は 取消 スイッチを押す。

リモコン番号の確認

各部屋のシステムリモコンには施工時、リモコン番号（1～15の通し番号）がつけてあります。（付属のシールがリモコンの下部に貼り付けてあります。）
シールが貼り付けていない場合は、リモコンで以下の操作をし、リモコン番号の確認をしてください。

1 その他設定スイッチと
すすむスイッチを同時に押す

リモコン番号確認モードになります。

メモ
- 各リモコンで同様の操作をし、リモコン番号を確認します。
- 10秒間スイッチ操作をしないと自動的に元の表示に戻ります。
- 取消 スイッチを押すと元の表示に戻ります。

下記のリモコン番号一覧表にリモコン番号に対応する部屋名を記入します。

1		2		3		4	
5		6		7		8	
9		10		11		12	
13		14		15			

使いかた　リモート運転のしかた／リモコン番号の確認

親機・子機の設定について

親機と子機

親機ー子機設定　（システムリモコンどうしのみ）

あるシステムリモコンからは「一括運転」「リモート運転」「グループ運転」および「現在時刻設定」「湯温レベル設定」を禁止したいとき、そのリモコンを子機に設定します。工事店にご依頼ください。いずれかのシステムリモコンについてこれらの機能を制限するためには、工事店に「親子設定」をしてもらう必要があります。

ペンションや幼稚園などで使用する場合、施工時に親機と子機を設定することで、子機で行える設定機能を限定することができます。
一般家庭でも頻繁に使うリモコンを親機とし、子供部屋や客室のリモコンを子機として扱うと便利です。

子機ではできない機能
- 現在時刻設定
- 湯温レベル設定
- リモート運転
- グループ設定
- 一括運転
- 一括タイマー運転
- 一括運転停止

HA機能について

施工時にシステムリモコンのHA端子を利用し、HA機器（JEM-A対応）と接続されているとHA機能が使えます。
HA機能とは電話による暖房運転の開始・停止を行うことです。
- 外出先から部屋を暖めるために電話をすると停止状態から運転状態に変わり部屋を暖めます。
- 外出先で暖房の切り忘れに気づいたとき電話すると運転状態から停止状態に変わります。

電話一本で運転している場合は停止に、停止している場合は運転になります。
※HA運転時は、切り忘れ防止機能（12時間タイマー）が働き、12時間後に運転が停止します。

〈HA運転時の12時間切タイマーの解除〉
HA運転したシステムリモコンのいずれかのスイッチを押すと解除され、通常の状態に戻ります。※1

〈継続運転したいとき、または停止後、再運転したいとき〉
下記のいずれかの方法で行ってください
- HA運転したシステムリモコンの運転スイッチを押す。※1
- HA機能を利用して再運転する場合は、再度運転指令を送信する。

※1　一括機能、リモート機能で複数のリモコンの解除、継続運転指示はできません。

VPZ-8SER2 の特長

●他リモコンからの信号（一括運転・リモート運転）を受信し、連動する機能があります。

時刻 現在温度 設定温度
床温 湯温 88:88
入切 タイマー 水確定
▲上げる ●入／切
▼下げる タイマー運転
室温調節（設定/変更）
VPZ-8SER2

ふだんの使いかた

入／切スイッチ P.25

●熱源機と放熱機の「運転」「停止」を設定できます。

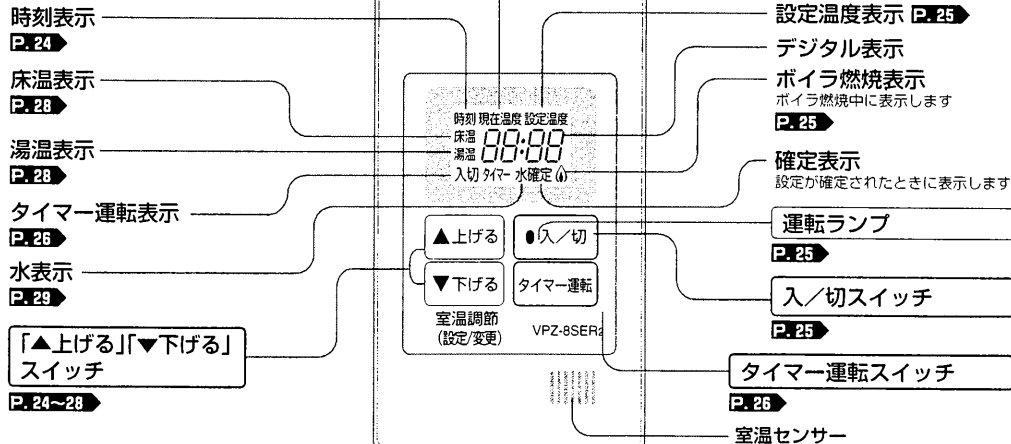
タイマースイッチ P.26

● 15分単位で「入タイマー」「切タイマー」を設定できます。

室温調節 P.25

●お部屋の温度を設定するとそれに合わせて運転します。

各部のなまえ

VPZ-8SER2

現在温度の表示について

床暖房用リモコンとして使用する場合は、現在温度は室温と戻り湯温から演算した体感温度を表示しますので、お部屋の温度と表示値が一致しません。

●室温より床温が高温時には、現在温度は室温より高い値を表示し、室温より床温が低い場合には、現在温度は室温より低い値を表示します。

※床温：戻り湯温と床温レベルと室温から推定します。

時刻合わせのしかた

例 14時30分に合わせる場合

1

停止中に
[▲上げる]スイッチを3秒間押し続ける

「設定」と10:00の点滅を確認する。
一旦指を離す。
●設定時刻が点滅中のときのみ設定できます。

2

[▲上げる] [▼下げる] スイッチで時刻を合わせる

[▲上げる]スイッチ…すすめる。
[▼下げる]スイッチ…戻す。

メモ

●一台のリモコンで時刻合わせをすると同時に他のリモコンも時刻合わせができます。（複数使用時）
●工場出荷時10：00に設定してあります。

3

<時の設定>を行う

[▲上げる]スイッチを押し続ける。
●分の単位が連続して進み、終わると続けて時の単位が11→12→13→14と変わります。

メモ

● [▲上げる][▼下げる] スイッチは押し続けると連続して変わります。（最初は分単位、次に時間単位で変わります）

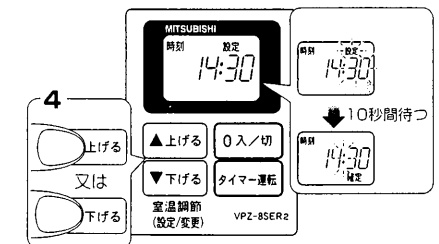
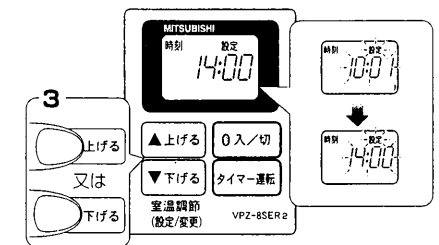
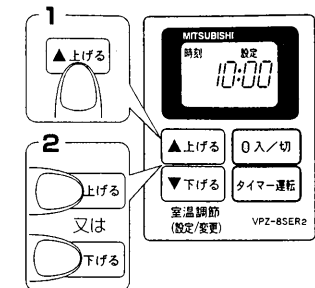
14を確認して指をはなす。

4

<分の設定>を行う

分の単位が30になるまで [▲上げる]スイッチを押す。
（行き過ぎたときは[▼下げる]スイッチを押す）
10秒間スイッチ操作をしないと自動的に確定する。
●「確定」が点滅から点灯へ変わる。
●確定が終了すると「確定」は消灯する。

メモ

●確定を自動で行わないときは [0入／切]スイッチを押しても確定できます。
●停電があった場合、時刻は［ --:-- ］を点滅表示します。再度時刻合わせを行ってください。
（ただし約30分以内の停電であれば時刻が自動的に復帰します）

運転開始と停止

1 暖房運転開始

入/切スイッチを押す

運転ランプが点灯し、現在温度と設定温度が表示されます。
ボイラが運転し、放熱機が暖房運転を開始します。

メモ
- ボイラ燃焼表示「 🔥 」はボイラがKXタイプで燃焼状態のときのみ点灯します。
- 工場出荷時は設定温度が22℃です。

2 暖房運転停止

入/切スイッチを押す

運転ランプが消灯し、現在時刻を表示します。
ボイラが運転停止し、放熱機への温水の供給が停止します。

室温調節のしかた

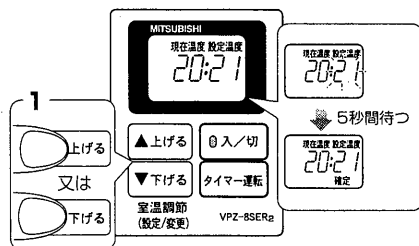
1 寒いとき/暑い時押す

暖房状態で ▲上げる ▼下げる スイッチでお好みの室温に設定する

押すたびに設定温度が1℃ずつ変わります。

▲上げる スイッチ…室温を上げる。

▼下げる スイッチ…室温を下げる。

メモ
- 切タイマー運転中でも室温調節はできます。
- 工場出荷時は22℃に設定されています。
- 5秒間スイッチ操作をしないと確定する。
  「確定」が点滅から点灯へ変わる。
  「確定」が消えて室温調節が終了する。
- 室温調節は8℃～30℃まで調節できますが、暖房負荷により設定温度に達しない場合があります。
- 調節範囲は8℃～30℃

タイマー運転のしかた

タイマー運転の設定をする前に時刻合わせをする必要があります。
入タイマー運転：設定した時刻になると暖房運転を開始します。
切タイマー運転：設定した時刻になると暖房運転を停止します。

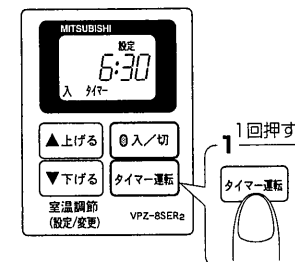
メモ
- 運転中に「入タイマー運転」を設定すると、自動的に運転を停止します。
- 停止中に「切タイマー運転」を設定すると、自動的に運転を開始します。
- 時刻合わせがされていないと、タイマー運転ができません。
- 工場出荷時の設定時刻
  入タイマー　5:30　が点滅
  切タイマー　21:00　が点滅
- 確定前に 入/切 スイッチを押すと変更した内容がキャンセルされて停止状態になります。

例 6時30分に入タイマー運転する場合

1 入タイマー運転

タイマー運転 スイッチを1回押す

「設定」が点滅し「入タイマー」が点灯
- 設定時刻が点滅中のときのみ設定できます。

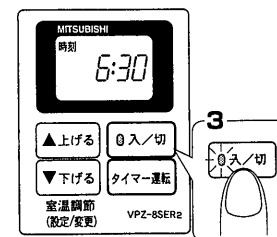
2

▲上げる ▼下げる スイッチを押し、時刻合わせの要領で6：30に合わせる

▲上げる ▼下げる スイッチは押すごとに15分単位で変わります。
10秒間スイッチ操作をしないと自動的に確定する。
- 「確定」が点滅から点灯へ変わり、運転ランプ点灯
- 「確定」が終了すると「確定」は消灯し、入タイマー運転を開始する。

メモ
- ▲上げる ▼下げる スイッチは押すごとに15分単位で変わります。
- ▲上げる ▼下げる スイッチを押し続けると連続して変わります。
  （最初は分単位、次に時間単位で変わります。）

3 入タイマー運転の解除

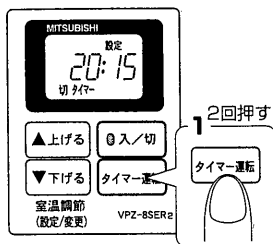
入/切 スイッチを押す

現在時刻を表示します。

例 20時15分に切タイマー運転する場合

1 切タイマー運転

[タイマー運転]スイッチを2回押す

「設定」が点滅し「切タイマー」が点灯

●設定時刻が点滅中のときのみ設定できます。

2 **[▲上げる][▼下げる]スイッチを押し、時刻合わせの要領で20：15に合わせる**

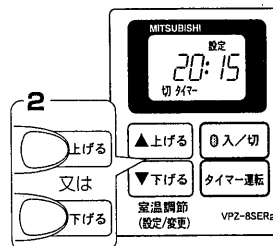
[▲上げる][▼下げる] スイッチは押すごとに15分単位で変わります。

10秒間スイッチ操作をしないと自動的に確定する。

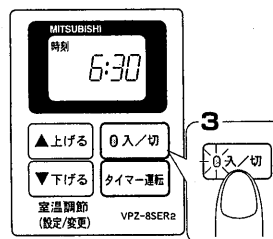
● 「確定」が点滅から点灯へ変わり、運転ランプ点灯

● 「確定」が終了すると「確定」は消灯し、切タイマー運転を開始する。

メモ ● [▲上げる][▼下げる]スイッチは押すごとに15分単位で変わります。

● [▲上げる][▼下げる]スイッチを押し続けると連続して変わります。（最初は分単位、次に時間単位で変わります。）

3 切タイマー運転の解除

[0入/切]スイッチを押す

現在時刻を表示し、暖房運転を停止します。

使いかた

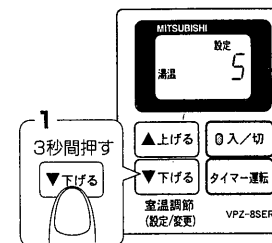
タイマー運転のしかた

湯温レベル設定のしかた

三菱暖房用ボイラKXシリーズに接続した場合のみ設定できます。

1 **停止中に**

[▼下げる]スイッチを3秒間押す

「設定」が点滅、「湯温」が点灯します。

2 **[▲上げる][▼下げる] スイッチを押し、お好みの湯温レベルに合わせる**

●湯温レベルの目安

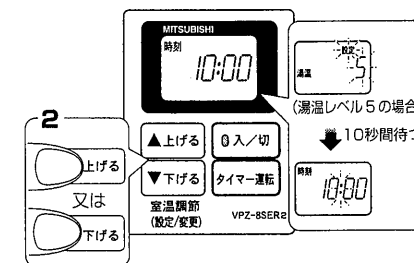
5：約80℃　（工場出荷時）

4：約72℃

3：約65℃

2：約60℃

1：約55℃

[0入/切]スイッチを押しても確定されます。

床温レベル設定のしかた

床材の厚みに応じて床温レベルを設定し、床温の上がりすぎを防止する機能です。

1 **停止中に**

[▼下げる] スイッチと [タイマー運転] スイッチを同時に押す

「設定」が点滅、「床温」が点灯します。

[▲上げる][▼下げる] スイッチで床材の厚みに応じて設定する。

●床温レベルの目安（床材の厚み）

5：20～25㎜

4：15～20㎜

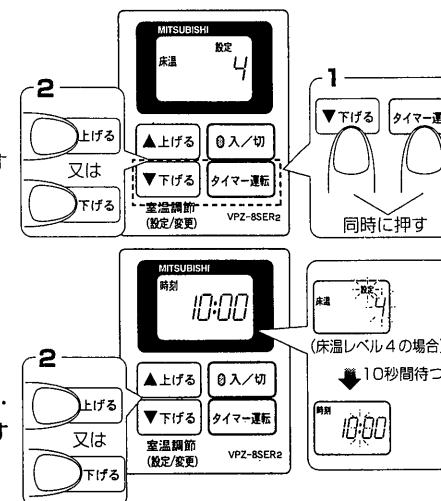
3：10～15㎜（工場出荷時）

2：5～10㎜

1：0～5㎜

●木質床材の場合は、温度を上げすぎると「そり」・「狂い」の原因になります。低目の設定をおすすめします。

10秒後に自動的に確定します。

[0入/切] スイッチを押しても確定されます。

ここからは2つのリモコンに共通の内容です

長時間使用しない場合

■長期間使用しないとき（シーズン終了時）は、ボイラとコントロールボックス（VPZ-8SPW$_3$）の電源プラグをコンセントから抜いてください。

■停電があった場合、時刻は［ - -:- - ］を点滅表示します。再度時刻合わせを行ってください。（ただし約30分以内の停電であれば時刻が自動的に復帰します）

お手入れのしかた

表面の汚れは、中性洗剤を浸した布をかたくしぼってふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ります。

お願い

次の溶剤を使用しないでください。変質・変色の原因になります。

●シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤など

故障・異常の見分けかたと処置方法

表示 VPZ-8SRC$_2$	表示 VPZ-8SER$_2$	原因	処置方法
電源ランプが点灯せず、表示部に表示が出ない。		電源が入っていない。	コントロールボックスとボイラの電源を入れる。
		リモコン接続コードがはずれている。	お買い上げの販売店にご連絡ください。
「点検灯油」表示と「U-OE」が点滅する。	「U-OE」が点滅する。	灯油が供給されない。（灯油切れ）（ボイラシステムのみ）	灯油タンクに灯油を入れたり、配管を点検して灯油が流れるようにする。（ボイラの取扱説明書をお読みください）
「点検水」、「U-0A」が点滅表示	「水」、「U-0A」点滅表示と運転ランプ点滅	ボイラの循環液が不足している。	防錆循環液を補充する。（表示は消える）
「点検水」点滅※1	「水」点滅※2	循環液の点検時間（6000時間）に達した。	お買い上げの販売店に点検を依頼してください。
「床温」表示が点滅する。（運転中）		床温が35℃以上であることを推定した。	異常なし。一時的に運転を止め、過熱を防ぎます。運転に支障ありません。
			ひんぱんに表示されるときは、「床温レベル」設定をやり直してください。
電源ランプが点灯し、表示もするが暖まらない。		ボイラ、コントロールボックスに電源が来ていない。	コントロールボックスと電源プラグを一旦抜いて再度確実に差し込みなおす。（差し込み時間差は30秒以内）
		ボイラのスイッチ設定が違っている。	お買い上げの販売店にご連絡ください。
		リモコンと熱動弁の設定が一致していない。	

故障・異常の見分けかたと処置方法 つづき

表示 VPZ-8SRC$_2$	表示 VPZ-8SER$_2$	原因	処置方法
「U-17」		強い地震や、衝撃により対震自動消火装置（感震器）が作動した。（ボイラシステムのみ）	ボイラの取扱説明書「地震などの災害が発生したときの点検」をお読みください。
E-01、E-02、E-03、E-04、E-05 E-08、E-09、E-11、E-13、E-14 E-18、E-19、E-0F、E-1A、E-1C E-1E		ボイラに異常があります。（ボイラの取扱説明書をお読みください）	本体スイッチを「切」にしてお買い上げ販売店にエラーコードをご連絡ください。
U-06			ボイラの本体スイッチを一旦「切」にして再度「入」にしてください。再度発生する場合はお買い上げの販売店にエラーコードをご連絡ください。
E-21、E-24、E-25、E-Ad		リモコン、コントロールボックスに異常があります。	お買い上げの販売店にエラーコードをご連絡ください。
U-91～U-94	U-41 U-91～U-94		熱源機、コントロールボックスの電源を落とし、再度電源を投入してください。再度発生する場合はお買い上げの販売店にエラーコードをご連絡ください。
OP-22		戻り湯温センサーの異常です。	お買い上げの販売店にエラーコードをご連絡ください。ただし、運転・停止・室温調節は可能です。

● OP ＊＊表示のものは、運転、停止、室温調節が可能ですが、お早めにお買い上げの販売店にご連絡ください。

※1 ［入］・確定 の2つのスイッチを同時に長押し（5秒間）すると解除できます。

※2 ［▲上げる］・［▼下げる］・［タイマー運転］ の3つのスイッチを同時に長押し（5秒間）すると解除できます。

保証とアフターサービス

アフターサービスは、お買い上げの販売店か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口（同封）」にご相談ください。

●修理のお問い合わせは「修理窓口」へ

●その他のお問い合わせは「一般相談窓口」へ

補修用性能部品の保有期間は

■本製品は補修用性能部品を製造打切り後9年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

「故障・異常の見分けかたと処置方法」（P29,30）にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■ご連絡いただきたい内容

1. 形名
2. お買上げ年・月・日
3. 故障内容　できるだけ具体的に
4. 住所・名前・電話番号　付近の目印なども

仕 様

■リモコン仕様

	温水暖房用システムリモコン VPZ-8SRC2	温水暖房用システムスリムリモコン VPZ-8SER2
外形寸法	高さ120㎜、幅120㎜、奥行18㎜	高さ120㎜、幅70㎜、奥行41㎜
質　量	170g	100g
消費電力	0.165W	0.165W
通信距離	総延長　100m	

■コントロールボックス仕様

	温水暖房用コントロールボックス VPZ-8SPW3
リモコン制御台数	最大8台（VPZ-8SPW3　2台取付の場合は15台）
通信距離	総延長　100m
電源電圧および周波数	100V　50/60Hz
消費電力	リモコン8台接続安定時：24.5/24.8W（50/60Hz）
外形寸法	高さ190㎜、幅290㎜、奥行68㎜
質量	1650g
電流ヒューズ	5A

※消費電力は、発熱体（熱動弁）の特性によりゆるやかに変化します。（最大消費電力70W）

機能比較表

機能	VPZ-8SRC2	VPZ-8SER2
室温設定	○	○
時刻設定	○	○
湯温レベル設定	○	○
プログラムタイマー運転	○	――
入タイマー運転	――	○
切タイマー運転	――	○
一括運転	送受信可能	受信のみ可能
グループ設定	送受信可能	受信のみ可能
リモート運転	送受信可能	受信のみ可能
親機・子機設定	○	――
リモコン番号の確認	○	――
床温レベル設定	○	○
ボイラ運転・停止	○	
ボイラ湯温調節	○（KXボイラのみ）	
ボイラ状態表示	○（KXボイラのみ）	
エラー表示	○（液晶によるエラーコード表示）	

保証書

■お客さまへ

取扱説明書の本ページが保証書になっています。
必ず本書をお受け取りになるときに「お買い上げ日、販売店名、扱者印」が記入してあることを確認してください。

MITSUBISHI 床暖房システム部材保証書

形名	VPZ-8SPW3　VPZ-8SER2 VPZ-8SRC2	製造番号	
お客さま	お名前　　　　様		
	ご住所　〒		
	電　話（　　　）		
※お買い上げ日		※取扱販売店名・住所・電話番号	
年　月　日		印 または サイン	
保証期間（お買い上げ日より）			
1 年間	床暖房システム部材		

本保証書は、本書記載の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、お買い上げの日から左記の期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。無料修理をさせていただきます。

- 本書の※印欄に記入のない場合は、有効となりませんので、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan

〈無料修理規定〉

1. 保証期間内に故障して、無料修理をご依頼の場合、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島又は離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合には、お近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水質および給水の供給事情による故障および損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にご愛用者名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
（ヘ）一般家庭用以外（業務用の長時間使用・車輛・船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。

- お客さまにご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口のご案内」へお問い合わせください。
なお、取扱説明書紛失時は総合窓口の「三菱電機お客さま相談センター」(0120-139-365) にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間につきましては詳しくは本書の内容をご覧ください。

修理実施日	修理内容	サービス員氏名

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号　電話 0573-66-2111